

資料館の展示品紹介③上総唐箕

唐箕は、風力を利用して穀物を精選する農具です。ろうと部分に穀物を入れながら、手回しで羽を回転させて風を起こすと、重い穀粒などは下に落ち、軽いゴミなどは吐き出し口から外に飛ばします。

上総唐箕は君津市東部の旧君津郡亀山村や同郡松丘村を中心に江戸時代末期から製造され、東北地方にまで販売されたといえます。展示の上総唐箕は睦沢町内の旧家から寄贈されたもので、高さ 117 cm、横 170 cm です。ふだんは資料館 1 階の「農家」のジオラマの「井戸」の近くにあります。



©睦沢町立歴史民俗資料館

(写真↑ 上総唐箕)